

「目黒区学力調査」の概要

1 調査の趣旨

目黒区立小・中学校の児童・生徒に「学力調査」を実施し、児童・生徒の学習状況を組織的・継続的に調査・分析するとともに、各学校の指導法やカリキュラムの改善・充実を図り、学力の定着・向上を目指す。

なお、本調査は、目黒区立小学校の第2学年～第6学年の児童及び目黒区立中学校の全学年生徒を対象に実施された。

2 調査の内容

(1) 調査の対象学年及び対象生徒数（本校）

	1 年	2 年	3 年
対象数	58人	77人	88人
実施数	57人	71人	86人
受検率	98%	92%	98%

(2) 調査内容と実施教科

学習指導要領に示された目標の達成状況（観点別学習状況）

児童の学習に関する意識など

1年 意識調査、国語、数学、社会、理科

2年 意識調査、国語、数学、英語、社会、理科

3年 意識調査、国語、数学、英語、社会、理科

(3) 実施日

平成19年4月13日（金）

目黒区学力調査に基づく授業改善プラン

学 校 教 育 目 標

心豊かにたくましく、未来を拓く生徒の育成を目指して、
次の具体的目標を掲げ、明るく活力ある学校を推進する。

- 1 進んで学ぶ。 2 考えて行動する。 3 よく協力する。



教育課程届における指導の重点

学習内容の精選と少人数指導等を通して、個に応じた指導の充実を図り、
基礎的・基本的な内容を身に付けさせ、学力向上を図る。思いやりの心の教
育を推進し、豊かな人間関係をはぐくむ生徒を育てる。

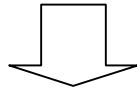


本校の授業改善に向けた視点（学校全体）

指導方法等の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研修・研究の工夫	評価の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
学習内容の精選とグループ別指導や少人数指導・TTを通して、個に応じた指導の充実により、学力の向上を図る。	少人数指導（英語、数学）生徒の個性や能力に応じた指導の充実を図る。 朝学習等を活用して、基礎学力の定着を図る。	教員が互いに授業公開を行い、授業の工夫改善を図ると共に、生徒の意欲の向上につながる評価に関する研修を行う。	精度の高い評価基準を作成する。 年度末に目標達成についての検証を行い、評価方法の充実を図る。	地域、幼稚園、小学校、児童館等との連携・交流を通して豊かな人間性、社会性を育てる。

区学力調査の結果から見られる成果と課題

国語	数学	英語	社会	理科
<p>国語について観点別に見ると、「書く力」「言語についての知識・理解・技能」の到達度が高くなっている。詳細を見ると、「文学的文章」「言語事項」の到達度も高くなっており強みといえる。しかし、詳細をみると、「説明的文章」に課題が残り、復習のポイントとなる。</p>	<p>数学について観点別に見ると、「数学的な表現・処理」「数量、図形などについての知識・理解」の到達度が高くなっている。詳細を見ると、「量と測定」「数量関係」の到達度も高くなっている。しかし、「数学的な見方や考え方」や「数と計算」「図形」に課題が残り、復習のポイントとなる。</p>		<p>社会について観点別に見ると、「社会的な思考・判断」「社会的な事象についての知識・理解」の到達度が高くなっている。詳細を見ると、「日本の歴史」「日本の民主政治」の到達度も高くなっている。</p>	<p>理科について観点別に見ると、「観察・実験の技能・表現」「自然事象についての知識・理解」の到達度が高くなっている。詳細を見ると、「生物とその環境」「物質とエネルギー」の到達度も高くなっている。</p>

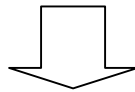


授業改善のポイント

国語	数学	英語	社会	理科
<p>「説明的文章」「書く力」については、論理的な文章を正しく読解し、また、書けるように、「構成」「論理の展開の仕方」「まとめ方」「語句の確認（辞書の使用）」を丁寧に指導する。</p>	<p>計算や推論していく過程を認識させ、結果に至るまで正確に記述する習慣を身に付けさせる。立体模型の活用や立体図形の作成などを通して、立体図形を考察する力を養う。</p>	<p>コミュニケーションに対する関心・意欲は高いが、文章・単語を書くことでは個人差が出現する。反復的な練習を取り入れたり、少人数授業を生かし、一斉授業と個への指導を充実させていく。</p>	<p>地理的分野について、略地図にさまざまな資料を記入したり、資料をもとにわかりやすいグラフや統計地図を作成するなどの作業的な学習を多く取り入れ、その中から社会的な事象を読み取り理解させる。</p>	<p>観察実験の技能・表現については、実験観察の使用器具の扱い方法について、プリントなどを活用し、学習への意欲を高めさせる。</p>

区学力調査の結果から見られる成果と課題

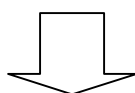
国 語	数 学	英 語	社 会	理 科
<p>国語について観点別に見ると、全般的に学力を高めることが求められている。「話す力・聞く力」「書く力」の到達度に課題が残る。また、「音声言語」「説明的文章」にも課題残り、復習のポイントとなる。</p>	<p>数学について観点別に見ると、全般的に学力を高めることが求められている。「数学的な表現・処理」「数量、図形などについての知識・理解」に課題が残る。「数と式」「数量関係」にも課題が残るので、復習のポイントとなる。</p>	<p>英語について観点別に見ると、「表現」「言語文化理解」の到達度が高くなっている。詳細を見ると、「リスニング」「文法・表現・英作文」の到達度が高くなっている。詳細をみると、「読解問題」に課題残り、復習のポイントとなる。</p>	<p>社会について観点別に見ると、「社会的な思考・判断」「観察・資料活用」の到達度が高くなっている。詳細を見ると、「地理・世界と日本の地域構成」「地理・地域の規模に応じた調査」の到達度も高くなっている。</p>	<p>理科について観点別に見ると、「科学的な思考」「自然事象についての知識・理解」の到達度が高くなっている。詳細を見ると、「身の回りの物質」「大地の変化」の到達度が高くなっている。詳細をみると、「身近な物理現象」に課題残り、復習のポイントとなる。</p>



授業改善のポイント

国 語	数 学	英 語	社 会	理 科
<p>「説明的文章」に対する読解力、「書く力」については、論理的な文章を丁寧に読み、要旨を正確にとらえながら、自分自身の意見や感想も書く機会を数多く設定する。「音声言語」については、授業中の明確な発問、辞書使用による語彙補強、CDの活用、スピーチなどにより確かな力を獲得させる。</p>	<p>数量や図形の基礎的な概念や数学的な手法を身につけさせるために、単元毎のプリント学習の工夫を図り、反復練習を重ねる。また、文章題の取り組みを増やし、問題文を理解して適切な解答を導いていくなかで、数学的な見方や考え方を育てる。</p>	<p>長文を読む練習量は教科書本文だけでは十分とは言えないのでReading Test を各単元の終わりに継続的に実施していくと共に、テキストの本文を再度読み込む練習をしていく。また、語彙増強の手段としてスペリングコンテストを継続させていく。</p>	<p>歴史的分野については、史料をよく読ませるとともに、個々の事実ばかりでなく、時代の特色や前後の関連をとらえる時間を確保し、歴史的なものの見方や考え方を育てる。</p>	<p>自然事象の観察理解については、資料集やプリントを活用して、さらに学習を深めていく。また、植物の内容については、実物の観察を多く取り入れることにより、理解を深めさせる。</p>

区学力調査の結果から見られる成果と課題				
国語	数学	英語	社会	理科
<p>国語について観点別に見ると、「書く力」「読む力」の到達度が高くなっている。詳細を見ると、「文学的文章」の到達度が高くなっている。詳細をみると、「説明的文章」「言語事項」に課題が残り、復習のポイントとなる。</p>	<p>数学について観点別に見ると、全般的に学力を高めることが求められている。「数学的な見方や考え方」「数量、図形などについての知識・理解」に課題が残り、復習のポイントとなる。</p>	<p>英語について観点別に見ると、「表現」「言語文化理解」の到達度が高くなっている。詳細を見ると、「読解問題」「文法・表現・英作文」の到達度が高くなっている。</p>	<p>社会について観点別に見ると、「社会的な思考・判断」「社会的な事象についての知識・理解」の到達度が高くなっている。詳細を見ると、「地理・地域の規模に応じた調査」「歴史・近現代の日本と世界」の到達度が高くなっている。</p>	<p>理科について観点別に見ると、全般的に学力を高めることが求められている。詳細を見ると、「天気とその変化」の到達度が高くなっており強みといえる。また「観察・実験の技能・表現」「自然事象についての知識・理解」や「電流とその利用」「化学変化と原子・分子」に課題が残り、復習のポイントとなる。</p>



授業改善のポイント				
国語	数学	英語	社会	理科
<p>「話す力・聞く力」「言語についての知識・理解・技能」や「説明的文章」「言語事項」については、語彙を広げる授業、論理的に読む力をつける授業を行う。</p>	<p>1・2年で学習した数量・図形の基本的な事柄を常に復習しながら、3年生の学習内容を深めていく。また、式やグラフ・表をかく練習を増やし、数量関係を読みとる力を鍛え、関数の学習の充実を図る。</p>	<p>各学期に、テーマを決めて10文以上のまとまった文章を書かせ、スピーチをさせ、表現能力の向上につなげる。また、少人数によるきめ細かな授業で暗唱を奨励し、英語力をつけさせる。</p>	<p>地理的分野、歴史的分野の基礎的な事項の学習は、反復して資料を読みとり、学力を定着させる。公民的分野についてはさまざまな社会的な事象について、自分の意見をもつ力の育成に努める。</p>	<p>「観察・実験の技能・表現」「自然事象についての知識・理解」や「電気や化学変化」の学習では、問題演習を中心にして再確認を行い、復習を徹底する。</p>